

## 小学校低学年の部



### とうちゃんのおにぎり

西小学校 一年 土井 結陽

ばっちゃんのはたけにはやさいがたくさん。  
ちとせ小学校 一年 佐々木 煙來

まいにちあついなかおしごとをする  
とうちゃん。  
あついときは、はたけからしそととつて、  
おにぎりにいれるんだよ。  
くるくるにしてとんとんとん。

「あちつ！」

ごはんがあつくおとしちやつた。  
もういちどぎゅつぎゅつ。

おおきいしそおにぎりができたよ。

「おつありがとう。」

とうちゃん、おしごとがんばってね。

ブロッコリー オクラ ジャガイモ  
ゆうがお トウモロコシ ピーマン  
メロン スイカ

「ばっちゃんこれもとつていい？」

ばっちゃんといっしょに  
やさいをとるのはとつてもたのしい。  
だからさがししているみたい。

おいしいやさいをたくさんありがとう。

講評

小さな手でにぎった結陽さんの「愛情しそおにぎり」、にこにこ顔でほおばつているお父さんのようすが目にうかんできます。  
「どうちゃんおしごとがんばってね。」へいほんなことばですが、結陽さんのお父さんへの思いがぎゅつとつまっているんだなあと、強く感じました。

講評

ばっちゃんのはたけは「だからのはたけ！」ザックザック、ザックザク。なんでもとれるまほうのはたけ。煌來さんは、ばっちゃんといつしょにとるのが楽しいんだよね。ばっちゃんと煌來さんとの強い結びつきが感じられました。だからさがししているみたい！」いいことばですね。

## ありがとうをつたえる



三本木小学校 三年 長谷川 紗也

## いつもありがとう



大深内小学校 一年 山端陸斗

学校からの帰りみち。

おうだんはどうをわたるとき、

右みて左みて手をあげる。

白い車がきたけれど、

私を見つけて止まつたよ。

いそいでわたつてふりむいて、

頭を下げておじぎした。

ぼうしがおちてころがつた。

家につくまであと少し。

スキップをして帰つたよ。

「ママ、ぼくがせんたくたんあげる。」  
ママはにつこりして  
「ありがとう。」  
と いつてくれる

ぼくは そのえがおが だいすき  
ママをえがおに するために  
ママのえがおを いっぱいみるために  
おてつだい がんばるよ

ぼくこそ

「いつもありがとう。」



リズミカルでテンポのいい文章、紗也さんの下校時でのルンルン気分をみごとに表しています。「ありがとうをつたえる」ことは、とても大切なことですね。ぼうしがおちるくらいおじぎをし、運転手さんも思わずほほえんだことでしょうね。

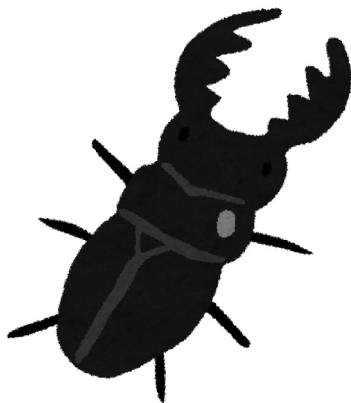
## 講評





おとうさんから かつてもらつた  
オオクワガタ

大深内小学校 三年 立崎中央



ギラギラひかる黒い色  
するどい二本の つの  
ぼくの大好きなオオクワガタ  
おとうさんと やくそくしたんだ  
大切にそだてること  
生き物にも 命があること  
ぼくは しつて いるよ  
たくさんお世話を するから  
長生きしてね



みんなでここにちは

ちとせ小学校 二年 中川原燎

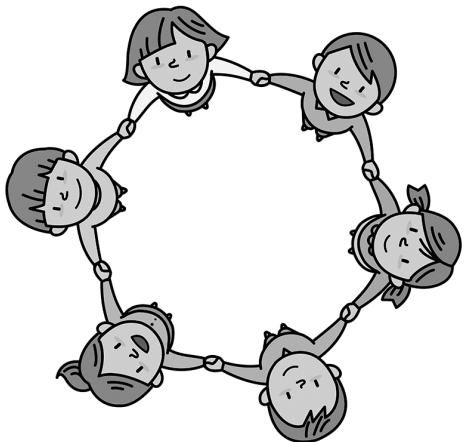


ぼくが 「ここにちは」と言つたら  
みんなも 「ここにちは」とかえしてくれる  
にこにこして手をふると  
うれしいきもちになる  
けんかをしても 「ごめんね」 つて言えれば  
またわらつてなかよしになれる  
ふれあいつてさいこうだ

## ぼくの心



四和小学校 三年 高橋沙太たか はし しよう た



先生の手をつなぐと、  
心が温かくなる。  
中学校の人と手つないで  
心が温かくなる。  
ねる前に本をよんでもらうと  
心が温かくなりました。  
ぼくもおとなになつたら、  
ぼくもそんな人になりたいです。

## おばあちゃんのおしごと



北園小学校 一年 櫻庭陽向子さくら ば ひなこ

おばあちゃんつてすごいんだ  
たくさんのことをするよ  
わたしとたくさんあそぶ「ほいくしさん」  
おりょうりじょうずな「コツクさん」  
おじいちゃんの「うんてんしゅさん」や  
「くすりやさん」もはじめたよ  
でも  
たいへんなときはいってね  
わたしもいっしょにてつだうから  
だつてわたしは  
ふたりの「だいすきやさん」

## にこにこーねん3くみ



三本木小学校 一年 大村幹人

ひと

ともだちが こまつて いたら  
かなしい きもちに なるんだよ

ケガを して いたら ばんそそうこう  
おもい にもつは はんぶんこ

どうしても むずかしい ときは  
せんせいに たすけて もらうんだ

ひとりじゃ できない ことも  
みんなで やれば できるから

みんなで たすけあう ーねん3くみ  
そんな クラスが だいすき！

## 小学校高学年の部



### まほうの手

北園小学校 四年

蛍名莉子



ひいおばあちゃんは94才。

なかなか会えないけど  
会うと、いつも、ふしぎに思う。  
目がみえないのに

手をつないで、しばらくすると

「莉子よく来たね。」って、いつも言う。

どうして分かるのか聞いた。

私が生まれたころ手をにぎつて  
ずっと、だっこしてだから分かるって。  
まほうの手だなって思った。



九十四才のひいおばあちゃんの指に、きつと目がついているん  
だよね。まほうの指で、莉子さんを愛情深くとらえていいようす  
ひが目に浮かんできます。今度会つたら、莉子さんが目をつぶつて  
ひいおばあちゃんと手をつないでみてね。どんな感じがするんで  
しょうか。

## こころの花



南小学校 六年 上道暖叶

学校からの帰り道  
花に水やりをしていた  
おばあさんがいた。  
さびしそうに見えたので  
僕が「こんにちは。」  
と言つたら、  
「おかえり。いいあいさつだね。」  
と言つた。  
ぼくとおばあさんは、  
笑顔になつて  
心に満開の花が咲いた。  
あいさつは人の心をつなぐ。

講評

「あいさつは人の心をつなぐ」いい言葉です。しびれました。  
知らない人に言葉をかけるのは勇気のいることです。暖叶さんはごく自然に「こんにちは」と声が出たのですよ。たつたひとことで人と人との心がつながるなんてすてきなことですよ。あいさつで「心に満開の花」を咲かせましょ。

## 小さな親切：



西小学校 六年 向中野叶聖

病院の玄関で  
腰が痛うなおばあさん  
ポンとくつを投げたら片方ひつくり返つた  
はきやすいように片方返してあげた  
今度は玄関のどびらが重くて開かない  
その重いどびらを押しておさえてあげた  
「ありがとう」とニッコリ  
目の前で母がした 小さな親切  
心がほんわかした  
次はぼくがやろう 小さな親切  
見習おう 思いやりの心

講評

思いやりの心はだれもが持っていますが、なかなか実行できません。叶聖さんのお母さんは、自然にあたり前のように行動しています。叶聖さんの目の前でのお母さんの行為が、叶聖さんの心のともしびになつたのですね。今度はこのともしびを広げていってね。

## たすけあいが光に変わる



東小学校 六年 長澤天音  
ながさわあまね

たすけあいは、

思いやりのある心

そつと差しのべる手が

心をあたためる

笑顔とたすけあいが重なつて

ひとりの力がみんなの光に変わる



みんなのひまわり



北園小学校 四年 太田有咲  
おおたありさ

一年前におばあちゃんにあげた

ひまわりが育っていた。

そのひまわりの花は、ぐんぐん伸び

気づいたら私をおいこし

おばあちゃんもおいこしいつのまにか

空を見上げていた。

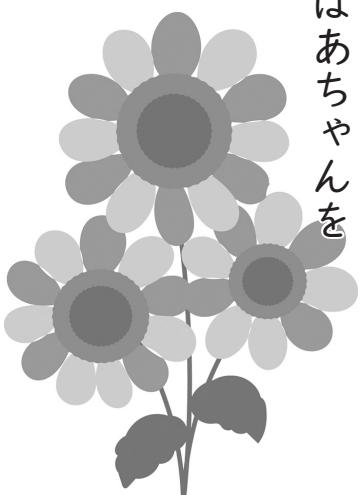
ひまわりは、空まで

伸びたいのかな

これからもまっすぐ伸びて

おじいちゃんとおばあちゃんを

元気にさせてね。



講評

「そつと差しのべる手が心をあたためる」全く同感です。親切、たすけあいの根本は「思いやり」ですね。ひとりひとりが「思いやりの心」を育てた時、「心が大きな光」になつてみんなを照らすことでしょう。

## 大きくなつた私



衣類の整理をしていた時

お母さんが着なくなつた服が出てきた  
「これ、あげるよ 夏那、着てみる?」

とお母さんが言つた

私が好きな色、

模様でサイズもピッタリだつた

「夏那はもう大人のサイズだね」

お母さんと背くらべをしてみた

ほとんど同じくらいの背だつた

私はもう身体は大人と同じなんだナ

嬉しくなつてジーンとした

うーん。

お母さんのたん生日

何にしよう

お母さんは何が好きだつけ  
犬? チョコせんべい? お花?

お母さんのまちうけ ハスの花

お母さんはお花が好き

買うのだとばれちゃうから  
手紙でハスの花をきれいにかこう

うんそれがいい。

## それがいい



沢田小学校 六年

小笠原 日葵

## 大きくなつた私



衣類の整理をしていた時

お母さんが着なくなつた服が出てきた  
「これ、あげるよ 夏那、着てみる?」

とお母さんが言つた

私が好きな色、

模様でサイズもピッタリだつた

「夏那はもう大人のサイズだね」

お母さんと背くらべをしてみた

ほとんど同じくらいの背だつた

私はもう身体は大人と同じなんだナ

嬉しくなつてジーンとした

うーん。

お母さんのたん生日

何にしよう

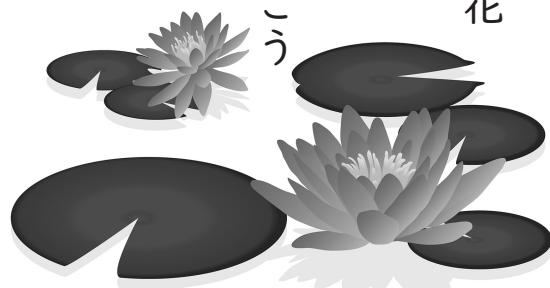
お母さんは何が好きだつけ  
犬? チョコせんべい? お花?

お母さんのまちうけ ハスの花

お母さんはお花が好き

買うのだとばれちゃうから  
手紙でハスの花をきれいにかこう

うんそれがいい。





## 私のお母さんお父さん

ちとせ小学校 六年 牛崎萌音



お母さんはおこる

お父さんはのんびり

私はいつもおこるところを見る

私はいつものんびりしているところを見る

だけど

たまたま二人でお出かけをする

楽しそうにおしゃべり

お母さんお父さんは仲がいい

だから 私は気分がいい



## ばあばの料理

東小学校 六年 斎藤望羽

青森のばあば 料理が上手

遊びに行くと 私もお手伝いをする

郷土料理

お盆やお正月の料理

たくさん教えてもらつたよ

ばあばも

お母さんやおばあちゃんに

教えてもらつたんだつて

昔から伝えられている料理

途切れないように

私も子や孫に伝えていきたい

## やさしい心



南小学校 四年

高屋澄奏か

北園小学校 四年

中濱俐人

やさしい心が世界を変える  
やさしい心がみんなにあれば  
ちょっと世界を変えられる  
やさしくされるとうれしくなるね  
だから私もやさしくしたい  
やさしい心が世界を変える  
やさしい心がみんなにあれば  
きっと世界は変わるはず  
一つ一つのやさしさつなげて  
みんなの笑顔をさせたい

## 人の出会い



ぼくがキックボードで転んでしまった。  
ひざもすりむき血がにじみってきた。  
痛くて泣いてしまった。

見知らぬおばあさんが

「だいじょうぶ?」

とケガをしたひざに

バンソウコウをはつてくれた。

ありがとう。

ぼくは、お礼を言つて帰つた。

それからというもの今では  
ぼくとおばあさんはなかよしです。  
おばあさん、ありがとう。

作

## 風間の祭り

ちとせ小学校 六年 阿部結人



山車引つ張つた

四時間半引つ張つたよ

お菓子がもらえるから引つ張つたよ

山車を引つ張つて いるとき、

かけ声のうたを歌つて いる人

山車を引つ張つて いる五十人くら いの人

山車が動かなかつた時、

でつかい木の棒で山車を動かす人

笛を吹く人、

太鼓をたたく人たちは山車の中 にいる

風間の祭りはみんなの祭り

僕はまた来年も出るよ

助け合いは

一人では出せない力

「手伝うよ」の一言で元気がわく  
弱いときは だれかに助けてもらつて  
強いときは だれかを助ければいい  
助け合いは 未来へつづく勇気になる

## 一人じゃないよ

ちとせ小学校 五年 中川原芽依



作

## 防パトレンジャー

三本木小学校 四年 福村華梨

ふくむらかりり



「おはようございます」

暑い日も、雨の日も、風の日も、雪の日も、  
え顔の防はんパトロールたい。  
私達を見守るスーパーせんし。

「今日もいるかな？」

元気よく私も

「おはようございます！」

いつもありがとうございます防パトレンジャー！

祖父の絵に、普段の印象からは見られない心の強さを感じ取つたこと、素敵な気づきだと思います。虹胡さんの心が大きく成長している証のように思いました。祖父に絵を描き続けてほしいと、虹胡さんの願いは、きっと叶うことでしょう。

講評

これからもずっと描き続けてほしい

祖父よ

「よく来たなあ。また背が伸びたか？」  
と、明るく声をかけてくれる祖父

普段の印象からは見られない  
心の強さを個展で感じ取つた

十和田中学校 二年

おやまだ  
虹胡

## 祖父の趣味



## 中学校の部

十和田中学校 二年

おやまだ  
虹胡

## じいちゃんと畑仕事

三本木中学校 三年

対馬佳音

十和田中学校 二年

川村祥矢



「ちょっと休むか」

じいちゃんが冷たいペットボトルの  
麦茶をくれた

タオルで汗を拭いながら

たわいのない会話で笑い合う

「トマト大きくなつたね」

「うん、いい色だ」

気づけばお互い真っ黒な顔

それを見てまたくしゃつと笑う

となりにいるだけで心がほつと温かくなる

この時間が私の宝物

じいちゃん、来年も一緒に汗を流そうね

## 講評

何気ない二人の会話の中に、普段から一緒に畑で汗をながしているのだろうな、おじいちゃんは佳音さんの成長を目を細めて見ているのだろうな等の場面が思い浮かび、温かく優しい気持ちになりました。これからも二人でたわいのない会話で笑い合つてくださいね。

## 家族のきずな

十和田中学校 二年

川村祥矢



僕は家族のおかげで

卓球と勉強ができている

おじいちゃんとお父さんの送迎  
お母さんのおいしいご飯

僕にとつて

一つでも欠けてはいけない

僕の力の源だ

だから僕は感謝の気持ちで

台所に立ち

そうじを手伝う

これが家族の輪

これが家族のきずな



## 「 Ganbare! 」

東中学校 二年 柿野のひまり

走っている時

「 Ganbare! 」

筋トレする時

「 Ganbare! 」

部活で言うことば

がんばっている友達に言うことば

雰囲気を明るくすることば

キツイことを乗り越えることば

仲間も自分も支えることば

挑戦できることば

みんなで言えば笑顔になっちゃうことば

だから今日もがんばろ



## たすけあい

東中学校 二年 吉野仁菜な

たすけあい

誰でもできる どこでもできる

たすけあい

みんなを繋ぎ 世界を繋げる。

たすけあい

増やしていく。 人の数だけ

世界中 たすけあい

世界が平和で みんなが笑顔

# 高等学校の部



## 支えられて

十和田工業高等学校 一年 津川碧葉

大病を通じて得たものは大きかつたですね。周囲の人々への感謝の気持ちが、文字を飛び出して、読み手の心に飛び込んで来るようです。周りの人たちに支えられて成し遂げた数々の挑戦です。碧葉さんの頑張る姿に、周りの人たちも支えられていましたのです。碧葉さんにはないでしょうか。陸上が出来るまで回復したことを嬉しく思います。

## 講評

陸上に明け暮れていた中二の初秋、突然、大病を患つて生活が一変した。両親にたくさん心配をかけた。学校行事にも参加できず、絶望的だつた。後遺症に悩まされながらも、リハビリを頑張り、高校受験も挑戦した。今は高校進学し、陸上ができるまで回復した。今の僕は、沢山の人々に支えられていると、この大病を通して知つた。



